



ふれあい

411号

2026年6月発行

医療法人 百花会
上野公園病院

大分県日田市大字高瀬2226-1

電話 0973-22-7723

皮膚剥離を予防するには

医療安全管理委員会 西1病棟 綿貫総司

皮膚剥離とは、摩擦、ずれなどの外力が加わる事によって皮膚が裂け、生じる傷である。入院患者の事故で多いのは、皮膚損傷である。入院患者は、高齢、長期臥床、低栄養状態、向精神薬の副作用等により、皮膚が脆弱になりやすい。日頃から予防することが大切である。その為、基本的な予防方法として以下にある。

皮膚の保湿、摩擦を減らす、ずれを防ぐ、皮膚を保護する、栄養と水分を十分に摂る。具体的な内容として、保湿剤を定期的使用する。衣類や寝具のしわを失くす。体位変換を適切に行う。栄養状態の観察と脱水を防ぐ。皮膚を保護する衣類やカバーの着用、ベッド柵、車椅子等に皮膚が干渉しやすい部位に、保護材を取り付ける等にて、予防することが大切である。また、介助時に損傷した場合は、再発しないよう、カンファレンスにて原因究明

行い対策案を挙げ、適切な介助方法を周知していく必要がある。

日常的な観察と適切なケアを継続し、皮膚トラブルの早期発見、早期対応に努めていく事が重要である。



～お知らせ～

令和8年6月1日から、診療報酬改定に伴い、入院中の患者様の食事負担金額が変更になります。（1食分）

標準負担額：510円→**550円**

低所得Ⅱ（90日以内）：240円→**270円**

低所得Ⅱ（90日超える）：190円→**220円**

低所得Ⅰ：110円→**130円**



大切にしていること

新人指導 東2病棟 神川希恵

私は、新人指導を行う際、一人ひとりの理解度や性格に合わせた指導を心がけています。新人職員の中では「何回も聞くのは申し訳ない」と感じ、質問をためらってしまう方もいるため、分からないことがあれば何回も聞いてくださいと伝え、質問しやすい雰囲気づくりを意識しています。また、業務を教える際は、メモを取る時間を十分に確保し、相手のペースに合わせて進めるよう心がけています。

新人職員と直接話をする時間を設け、業務に対する不安や困りごとがないか確認するようにしています。指導する側が気付いていない悩みを抱えていることもあるため、本人の気持ちに耳を傾けながら、一緒に解決方法を考えることを大切にしています。

さらに、新人職員にどこまで業務を任せるかについては、病棟師長と相談しながら進めています。本人の習熟度や不安の強度を共有し、無理なく段階的に業務の幅を広げられるよう意識しています。

これまで新人職員一人ひとりに寄り添った指導ができていたのか不安に感じることもありますが、今後も安心して成長できる環境づくりを行い、安全で質の高い介護、また自分の成長にも繋げていきたいと考えています。



歯の大切さについて

ふきのとう 相談員 横田佐智雄

歯は、食事を楽しむだけでなく、会話や表情づくりにも欠かせない大切な役割を持っています。特に介護の現場では、歯や口の健康が低下すると、噛む力や飲み込む力が弱まり、誤嚥性肺炎など、命に関わる病気のリスクが高まります。又、良く噛める事は脳の働きを保ち、認知症予防にもつながると言われています。毎日の歯磨きや入れ歯のケア、定期的な歯科受診を続けることが、介護を必要とする方の「その人らしい生活」を考える土台となります。ふきのとうでは、食後に口腔ケアを実施し、異常時や歯の痛み等がある際は、ご家族様にお伝えして、受診等につながる様に支援しています。いつまでも健康な歯を維持して、食事を楽しく、おいしさを感じながら、大切なご家族との時間を過ごしていただければと思います。

